

主催:瀬戸内海考古学研究会 共催:愛媛大学考古学研究室・東アジア古代鉄文化研究センター

## 平成25年度 瀬戸内海考古学研究会公開大会案内

日時:2013(平成25)年5月18日(土)~5月19日(日)

会場:愛媛大学総合情報メディアセンター1階 メディアホール  
(松山市文京町3 愛媛大学城北キャンパス)

### <研究発表>

#### 5月18日(土) 12:50~17:00

開会挨拶 瀬戸内海考古学研究会代表 下條信行 12:50~13:00

第一部:瀬戸内弥生石器をめぐる諸問題 13:00~14:30

高木邦宏・兒玉洋志(西予市教育委員会)「製作実験から見た石庖丁の型式と地域」

下條信行(愛媛大学名誉教授)「いわゆる大陸系磨製石器の瀬戸内における定着過程」

(休憩) 14:30~14:45

第二部:横穴式石室における葬送儀礼について 14:45~17:00

坂本豊治(出雲市教育委員会)「出雲市国富中村1号墳の葬送儀礼とその特色」

栗田茂敏(松山市埋蔵文化財センター)「松山市葉佐池古墳2号石室における葬送儀礼」

亀澤一平(松野町教育委員会)「装飾付須恵器の変化とその特色」

#### 5月19日(日) 9:00~12:20

第三部:瀬戸内・畿内の弥生時代の鉄問題とその史的意義 9:00~10:30

村上恭通(愛媛大学)「瀬戸内における弥生時代の鉄問題と鉄史観」

禰宜田佳男(文化庁)「近畿地方における「石器から鉄器へ」の再検討」

(休憩) 10:30~10:40

第四部:地域の古墳時代政治権力の動向をどう捉えるか 10:40~11:30

田中晋作(山口大学)「山口県域に投影された畿内政権の動静」

第五部:長江中下流域における稲作文化の多様な技術体系を分析する 11:30~12:20

槇林啓介(愛媛大学)「長江流域における栽培技術体系の多元的展開」

閉会挨拶 瀬戸内海考古学研究会副代表 谷若倫郎

### 懇親会

日時:5月18日(土) 18:00~20:00

会場:セ・トリアン(愛媛大学南加記念ホール北隣)

会費:4,000円

\*懇親会参加者は所属・名前・連絡先を明記の上、5月10日までに下記事務局宛に申し込んで下さい  
(なるべくEメールで)。会費4,000円は当日受付で申し受けます。

\*研究会参加は無料です。一般参加者歓迎。

\*発表要旨集(予稿集)は頒価1,000円前後を予定しています。

撮影:秋山邦雄

大会事務局:松山市紅葉町2-57 下條信行

TEL・FAX089-933-1809 携帯電話 090-4472-4852

Eメール:N.SHIMOJO-KOUKO@AROMA.OCN.NE.JP